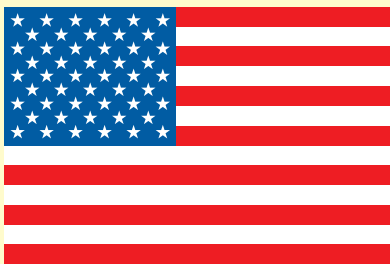


アメリカ

アメリカって どんな国？

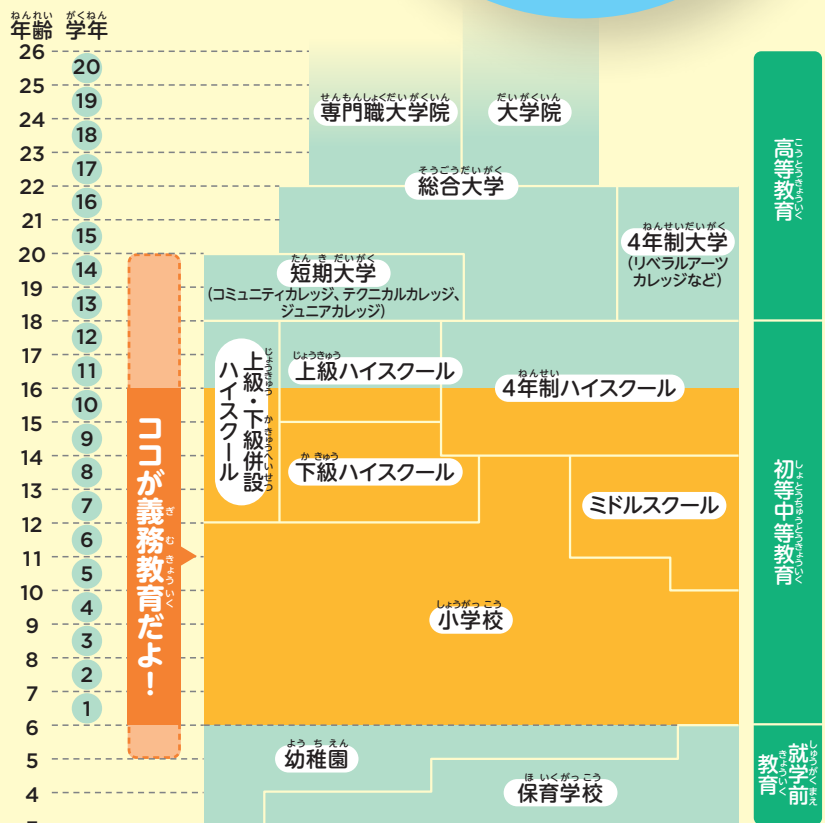


国名	アメリカ合衆国
面積	9,833,517km ²
人口	約3億3,200万人
首都	ワシントンD.C.
言語	主として英語（法律上の定めはない）
通貨単位	米ドル（アメリカ合衆国・ドル）

出典：外務省「国・地域」
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/data.html>)を加工して作成。

面積が日本の約26倍ある大国。北アメリカ大陸の中央部にありますが、アラスカやハワイ諸島に至る広大な国土を持つため、熱帯から寒帯まで多様な気候です。おおむね、東部は温帯、西部は乾燥帯、北部は亜寒帯に属しています。また、南東部のフロリダ半島の一部やハワイ諸島は熱帯で年中暖かく、北アメリカ大陸の最高峰デナリのあるアラスカは亜寒帯と寒帯で、冬は厳しい寒さとなります。

学校の制度



アメリカの教育は50ある各州がそれぞれ独自に規定しているで、州ごとに制度やカリキュラムが異なります。義務教育は、6歳を開始年齢とする州が多く（幼稚園の1年間も含める州がある）、その後、10～14年間行われています。日本の小学校にあたる初等教育は多くが6歳入学で、4～8年間行われます。日本の中学・高校にあたる中等教育は、ミドルスクールやハイスクールで行われます。義務教育の修了年齢については、2000年代に入って引き上げを行う州が増え、州ごとに多様です。

なるほどトピックスと日本とのつながり

世界を牽引する自由の国

古くから南北アメリカ大陸にはアジアにルーツを持つとも言われる先住民が住んでいました。1492年にコロンブスらがカリブ海に浮かぶ島に上陸して以来、ヨーロッパ人の進出が進みました。現在のアメリカ合衆国のあたりも、しだいに先住民が追いやられて、スペイン人やイギリス人によって統治されます。その後、独立戦争を経て1776年にイギリスから独立。19世紀から20世紀にかけて飛躍的な経済成長をとげ、今や世界トップのGDP(国内総生産)や政治力、軍事力をほこる、世界のリーダー的存在になりました。

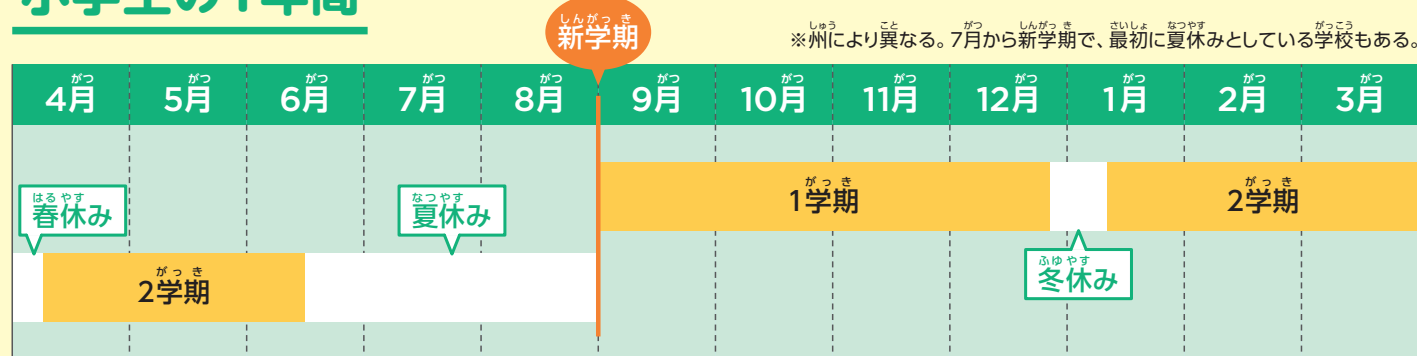
ニューヨークのリパティ島に建つ「自由の女神像」。アメリカ建国の精神「自由」の象徴。



つながり

日本がアメリカと正式に国交を始めたのは、1854年に「日米和親条約」が結ばれてからです。第二次世界大戦では戦火をまじえましたが、戦後は結びつきを強め、1960年におたがいの軍事的な協力関係を保障する現在の「日米安全保障条約」が結ばれました。アメリカは中国に次ぐ日本の貿易相手国でもあります。アメリカから世界に広まったものは多く、コーラ、インターネット、ジーンズは、アメリカ発祥のものです。

小学生の1年間



アメリカの小学校はおおむね、新学期が9月から始まる2学期制か4学期制です。授業は月曜日から金曜日まで行われます。州や学校ごとに細かな違いはありますが、多くの州で共通する教科は、国語、算数、理科、社会、保健、体育、芸術(美術、音楽、ダンスなど)です。そのほか、外国語や環境教育、コンピューター・リテラシー、キャリア教育などの授業を行う州もあります。また一般教科とは別に、「アルコール・薬物使用の防止に関する教育」や「選挙に関する教育」などを行うこともあります。



アメリカ南部にある小学校。

アメリカの小学校へ潜入!

学びの特徴

アメリカの教育のもっとも大きな特徴は、教育に関わる権限が国ではなく、各地方にゆだねられていることです。そのため、アメリカには国家的な教育制度というものはありません。前ページでも触れましたが、各州や学区によって、学校制度だけでなく、年間の休みや授業数、カリキュラムなども異なるのです。ただし、ほかの国と比べてみると、アメリカならではの特徴というものがあります。

アメリカの小学校では、近年、自分の専門教科を複数のクラスで教える教科担任制や複数の指導者によるチーム指導制などが増えています。しかし多くは、体育や芸術科目以外は担任の先生が教える学級担任制です。アメリカの小学校では担任の先生の裁量が広く、時間割や教材も先生が決めて授業を進めます。そのため、年間を通して決まった時間割のないことがほとんどです。

ディスカッション形式の授業が多いので、みんなの前で堂々と発言する習慣が身につきます。



プログラミング教育が重要視されるようになり、ロボット製作が授業に取り入れられるようになった学校もあります。

現在は必須となったコンピュータースキル。最近ではタブレット端末やノートパソコンを子ども1人に1台用意している学校も増えました。



新型コロナウイルス感染症の流行で、多くの学校の授業がオンラインとなりました。ただ、地域によっては学校からのパソコンの支給がなく、家に使えるパソコンがない子どももいるなど、教育格差が浮き彫りになりました。

通学スタイル

通学は基本的にスクールバスを利用するか、保護者が車が徒歩で送り迎えをします。私立の学校では決められたルールがある場合もありますが、公立校では服装などに校則のようなルールはありません。基本的にどのような服装で登校するかなどは子どもに任されていて、自己管理が求められます。

スクールバスは、決められた場所に、毎朝、同じ時間に迎えに来てくれます。



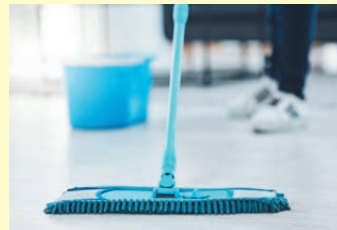
日本では、校舎に入る時は上履きに履きかえしますが、アメリカでは登校した靴のままで過ごします。



お弁当を持ってこない場合は、カフェテリアで昼食が買えます。食べる場所は、日本のように教室で決められてなく、カフェテリアや校庭のベンチなど、思い思いの場所で昼休みを過ごします。



日本では授業の終わった後に、子ども自身で教室やその他の施設の掃除をしますが、アメリカではクリーニングスタッフが掃除をします。



髪型も服装も思い思いだね



服装だけでなく、髪の色も自由です。

日本との違い

「自由の国」アメリカらしく、日本と比べて子どもたちの自主性に任せる部分が多いです。放課後の部活動は特にありませんが、NPO法人などが運営する「アフタースクール・プログラム」と呼ばれる活動に参加する子どもも多く見られます。スポーツやダンス、演劇、アート、プログラミング、ボードゲームなど、さまざまなプログラムが行われています。



ダンスやバレエ、サッカー、野球、バスケットボールなど、スポーツ系の習い事が人気です。日本と大きく違うのは、1つの種目だけでなく、春から夏は野球やサッカー、秋はアメリカンフットボール、冬はバスケットボールなどと、季節ごとに違う種目を行う子どもが多いことです。

アルゼンチン

アルゼンチンってどんな国?



- 国名 アルゼンチン共和国
- 面積 278万km²
- 人口 約4,538万人
- 首都 ブエノスアイレス
- 言語 スペイン語
- 通貨単位 アルゼンチン・ペソ

出典：外務省「国・地域」
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/argentine/data.html>)を加工して作成。

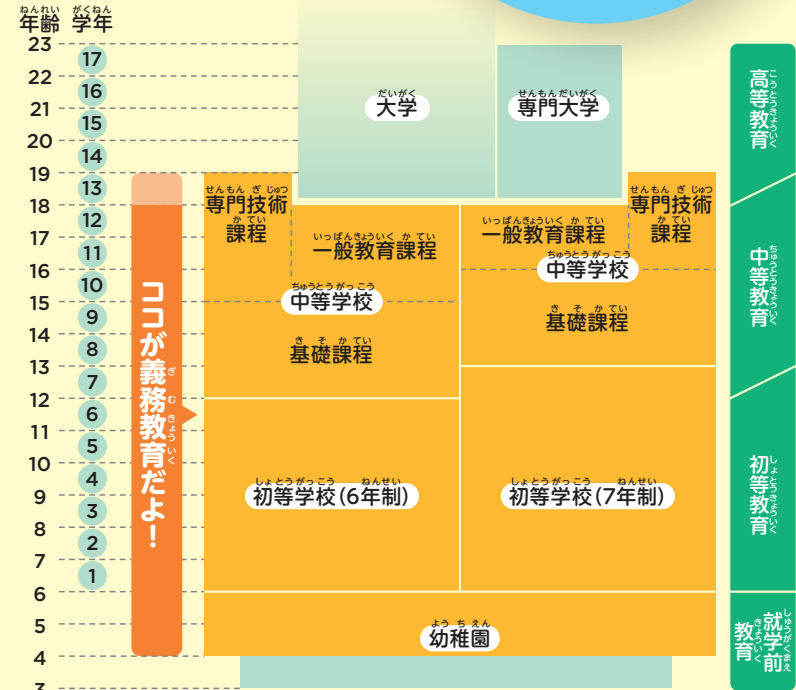
南アメリカ大陸の南東部にある国。南北に長い
ため、北部は熱帯から温帯、中央部は乾燥帯、
南部のパタゴニア地域は乾燥帯や寒帯など、西
部のアンデス地域は高山気候と、気候は多様。

小学生の1年間



※ドクターホセ・インヘニエロス学校の例。

学校の制度



※中等教育の基礎課程を3年制以外としている地域もある。
出典：文部科学省「世界の学校体系」と取材をもとに作成。

アルゼンチンの義務教育は、4～18歳の14年間(技術課程は15
年間)です。日本の小学校にあたる初等教育は6歳入学で6年間また
は7年間(6年か7年かは各州で決定)行われます。その前の幼稚園2
年間と中等学校までが義務教育です。

アルゼンチンの小学校は、新学期が
2月または3月に始まる2学期制です。
授業は月曜日から金曜日まで行われま
す。国語、算数、英語、自然科学、テクノ
ロジー、社会、体育、音楽などを学びま
す。公立の小学校では、午前コースと
午後コースに分けられていて、先生も
子どもも、すべて入れ替わります。

なるほどトピックスと日本とのつながり

壮大な自然を持つタンゴ発祥の地

16世紀にスペインの植民地となって以来、ヨーロッパ文化
に強い影響を受けました。1816年の独立後もスペイン系と
イタリア系の住民が多くを占めます。農地が国土の半分を占
め、「パンパ」と呼ばれる肥沃な草原地域で行われる農業と牧
畜で有名な農業大国。「ペリトモレノ氷河」「イグアスの滝」な
どのダイナミックな自然も多く
残されています。

首都ブエノスアイレスの街並み。
中心地にはヨーロッパ風の建物が
たくさん並んでいます。



アルゼンチンの小学校へ潜入!

今回、潜入するドクターホセ・インヘニエロス学校は、
運営組織の母体がバスケットボールのクラブチームを
運営しているため、放課後のスポーツ・アクティビティが
充実しています。子どもの多くは、地域のサッカーやバ
スケットボールなどのクラブチームにも所属して活動を
しています。年間でもっとも大きな行事は、11月に開催
される日本の学習発表会に似た「フェーリア・デ・シエン
シアス」です。前年度はクラスごとにテーマとなる国を
決めて、それにまつわる展示や発表が行われました。



体育の授業の様子。

つながり

1853年、ペリー提督に随行してきたアルゼン
チン海軍武官と幕府役人の交流が発展し、日本
とアルゼンチンの友好は始まりました。アルゼン
チン発祥のタンゴは、ヨーロッパやアメリカに渡
り、現在世界中で踊られています。その人気は日
本にも伝わり、ダンスホールなどで盛んに踊ら
れています。現在もアルゼンチンからは毎年タ
ンゴ楽団が来日したり、日本人の演奏家がアル
ゼンチンで演奏したりするなど、2国間の友好関
係に寄与しています。



首都ブエノスアイレスにあるドクター
ホセ・インヘニエロス学校。



「フェーリア・デ・シエンシアス」の
ブラジルについての展示物。 「フェーリア・デ・シエンシアス」の
日本についての展示物。